

『時事直言』 No.1591 2023年2月27日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] [t_masuda2019/](#)

[instagram] [t_masuda2019/](#)

[mail] info@chokugen.com

[twitter 英語] [T_Masuda_eng/](#)

[Youtube] [増田俊男チャンネル/](#)



時事評論家 増田俊男

世界が変わる中での日本の運命

世界の何が変わろうとしているのか。

安全保障面では世界は国際協調主義から自国ファーストの保守主義になろうとしている。

オバマ大統領、トランプ大統領、そしてバイデン大統領に至るまで「アメリカは最早世界の警察官ではない」と宣言している。

アメリカが主導してきた国際秩序の持続が難しくなっている。

戦後の世界経済成長を支えてきた国際基軸通貨のドルの世界シェアが下がり始め、一国が国際基軸通貨の自由裁量権を持つことの不都合さが顕著になってきた。

アメリカの軍事、経済単独覇権が難しくなり、世界は多極化に向かい始めている。

物理的にもそうであるように、アメリカ一極覇権から一挙に多極化するのは不可能。

だから、米中冷戦、東西冷戦で世界は二分断の方向へ向かっている。

物理理論のように、二分断から四分断、さらに八分断のように、世界は多極化へ順序正しく向かっている。

私は「小冊子」Vol.131 で、戦後から今日まで日本の安全、財政、金融、さらに思想に至るまでアメリカの影響の下に置かれてきた日本のありのままの姿を描き、「それでも何故日本はこれから良くなるのか」を解説している。

戦争放棄を旨とした、専守防衛の防衛指針、「陸海空戦力これを持たず、交戦権を認めず」を規定している憲法第9条は「平和憲法」と呼ばれてきた。

「自分の頭の上の蠅を追えない国は主権国家ではない」！

安全保障のみならず、外貨準備は100%ドル資産でなくてはならないとアメリカに命令されているのを見ればわかる通り、日本には外貨準備にさえ自由裁量権がない。

「小冊子」Vol.131の第一章から第十章まで熟読すると、本当の日本が手に取るようにわかる。

事実上主権無き日本が「何故これから良くなる」のだろうか。

日本はアメリカのマッカーサーがアメリカの利益の為に造った日本国憲法を与えられ、使わせてもらっているのだから日本国憲法に対していかなる自由裁量権もない。

(だから日本は戦後から今日まで78年間憲法を一言一句改正、変更出来なかった)

「日本はアメリカのピンの中に入れられ蓋を閉められている」とは日米関係を如実に表している言葉である。

アメリカはアメリカの都合で日本を支配し、都合が悪くなれば日本を開放する。

戦後長きにわたりピンの中にとじ込まれてきた日本がアメリカの都合で外に出されることになった。

日本国憲法第9条違反の三文書改訂(自衛隊に先制攻撃能力を持たす)を「日本の憲法はアメリカが作ったのだ」と公言したバイデン大統領が大歓迎！

マッカーサーが強制した憲法第9条をアメリカが日本に無視するよう求めているのだから三文書改訂の違法性については国会でも又マスコミも一切見て見ぬ振り。

そろそろピンから出された後の日本について考える時が来た。

日本人なら「小冊子」Vol. 131 を読まなくてはならない。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S. リサーチ ジャパン 株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。